

平成 28 年度第 1 回  
平戸市総合戦略推進委員会  
議 事 録

と き：平成 28 年 9 月 16 日（金）13：30～15：50  
ところ：平戸市役所 3 階大会議室

開催日時	平成 28 年 9 月 16 日（金） 13:30～15:50
開催場所	平戸市役所 3階大会議室
出席委員 (50音順、敬称略)	赤木径子、荒木竜樹、飯田善勝、石川雄一、田中範子、寺田孝弘 西村拓也、町田和正、松尾 忍、松山芳弘、吉田昭一郎（11名）
欠席委員 (50音順、敬称略)	竹田健介、豊増見喜雄、行成啓介、吉福弘実（4名）
事務局 (財務部企画財政課)	吉住龍三部長、小出圭治課長、藤山修一班長、峯野恵美係長
次第	(事務局)
1. 開会	
2. 委嘱状交付	黒田市長から委員代表の吉田昭一郎委員に交付
3. 市長あいさつ	(黒田市長)
4. 推進委員会会長及び副会長の選任について	委員の互選により、会長に石川雄一委員、副会長に町田和正委員を選任。
5. 議題 (1)平成 27 年度の平戸市の決算状況について	(事務局説明)  質疑・意見等無し
(2) 「平戸市総合戦略」に係る平成 27 年度事業の実施状況等について <b>【基本目標 1 雇用の促進】</b>	<b>【基本目標 1 雇用の促進】</b> (事務局説明) ●質疑・意見等 <委員> K P I 等の実績値を見ると、既に達成しているものもあるようだが、目標を上方修正することもあるのか。

<事務局>

総合戦略は随時更新していくので、上方修正することもあり得る。

<委員>

事務局から「宿泊客増が課題」という説明であったが、観光業、宿泊客の増加と同時に、地域の雇用を守る意味でも旅館業の支援をお願いしたい。

<委員>

全体的に見ると、やるべき事業をちゃんと打っていると思う。総合的に様々な事業を行っていくときに、全体的に薄くなってしまいうだろうが、重点をどこに持っていくのか、ということがある。人口減少が「静かな有事」とも言われる中、若い人に住んでもらう、人口を増やしていくため、ドラスティックに対応する必要も出てくると思う。

<委員長>

就職する際のミスマッチという話もあったが、どういう産業や声を総合戦略に盛り込むか、中身が大事だと思う。大学には、地元での就職率を高める努力を求められているが、大学がグローバル化を進めている中、逆のことを言われているようで苦しいところもある。果たして、大学生が地元で就職できる場所がどれだけあるのか、といったことも課題であり、どういった産業を地域で育てていくか、というのを考えていただければと思う。

<事務局>

一つに絞ってやれば良いのだろうが、平戸は食、歴史、自然などたくさん資源があり、集中的なものがほとんどない。平成 31 年度には田平に工業団地完成を予定しており、うまくいけば操業開始により雇用の確保につながっていくと考えている。一本に絞るのではなく、農業、水産業の後継者育成による維持などと併せ取り組むという施策の作り方になっている。

<委員長>

施策の重点度については、予算の中身を見れば大体おわかりになるのではないかと思う。

<委員>

目標値のハローワークを通じた新規就職者数で、平成27年度実績431人で平成31年目標値400人だが、これは単年度の数値であり、目標値の設定が累計値ではなく単年度数値になっているのが、どうなのかと思う。

<事務局>

累計がわかりやすいのかも知れないが、策定時の目標値400人は、現状の水準を維持しつつ諸事業の展開により就労機会を確保していくということで、平成26年度実績値の1割増しという設定を行った。

<委員>

平戸市内の雇用環境がどうなのかという点で、市内の求人数がどれぐらいあるのか、働きたいという人はどれぐらいいるのか、またミスマッチの状況などが数値的にわからないまま断片的なところで分析されている。事業を継続するにあたり、最低限、何人の人員確保が必要なのか、人数が不十分で経済活動ができないといったケースもあると思うが、そういうデータは掴めるものなのか。

<事務局>

江迎管内の業種別有効求人状況を入手しており、介護系は、求人は多いが求職者は少なく、サービス業は求人・求職者とも多いが離職者も多い、などは確認している。また、事務職系を求める人が多く、製造は少ないということも聞き及んでおり、こういったミスマッチがあることは承知の上でどうやって事業を作っていくか、という研究をしている。

<委員>

数値目標に向かっていく上で、数値は断片的な情報であるので、何が要因として考えられるのか、例えばハローワークの新規就職者数に特殊

<p>【基本目標 2 産業の振興】</p>	<p>要因がないのかなどを事務局で把握をしていただきたい。また、どういう傾向があるか、などの情報を提示していただければPDCAを回していく上で平戸市の特性や傾向が委員に見えてきて、今後活かせると思う。</p> <p><b>【基本目標 2 産業の振興】</b> (事務局説明)</p> <p>● 質疑・意見等</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>数値目標の平戸観光に対する満足度が2ポイント伸びているが、どの部分が伸びたのか、どこが弱点になっているのか把握できているのか。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>観光客に対するアンケートであり、全般的な内容での回答形式になっているため具体的な内容把握までは至っておらず、細かな分析に使えるような形にはなっていない。</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>分析の方法だが、数値に見えない隠れた部分を導き出す因子分析というのがあり、今後アンケートを行う場合は、因子分析ができる会社を選んだ方が、アンケート結果による課題が見えてくると思う。</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>せっかくのアンケートを取るのであれば、どこかに活かせるアンケートにしないとともったいないと思う。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>おっしゃるとおりなので、担当課とも協議したい。</p> <p>&lt;委員長&gt;</p> <p>県立大学には「地域創造学部」があり、その学生は行楽シーズンに片っ端から聞き取りでのアンケート調査を行ったりしており、回収率も上がるのでぜひ活用いただきたい。</p>
-----------------------	--

【基本目標3 子育て支援】

<委員>

平戸の観光は、今後はいかにアジアを中心とした海外の観光客を誘致するかが大事だと思う。平戸独自のルート・物語を作るなどソフト面でもっと踏み込んでどうか。

【基本目標3 子育て支援】

(事務局説明)

●質疑・意見等

<委員>

読書推進事業の中のアクション、課題の「各公民館図書室における活動及び支援が必要」とあるが、環境を作ることによって子供たちが寄ることになるので、是非、公民館と図書館に継続的な支援をお願いしたい。

また、37 ページ記載の不登校のアンケートだが、不登校の兆候は小学校高学年から出てくるので、アンケート対象の検討と、もし小学校からアンケートを取るのであれば小中学校の連携をしっかりと取り組んでもらいたい。うまく引き継がれないと、悪い方向に流れるケースが出てくる。人事異動による担当者交代も考慮してもらいたい。

<事務局>

担当課に伝えておく。

<委員>

7月から10月まで創業を目指す起業塾を行っているが、出張図書館ということで、未来創造館から創業を目指す方々に合う本を持ってきてもらっている。良い事例として紹介しておく。

<委員>

将来的に、移動図書館を支援対策として入れていただきたい。

<委員>

介護職人材確保支援事業3名の就職が決まったという意味は大きい。これを拡充していくことは大事だと思う。事業所が介護事業から撤退していくような流れがあるならば、雇用の場を作る上でも行政として市の

<p>【基本目標 4 定住・移住の促進】</p>	<p>直営で公社を作ってもいいと思う。雇用の場が多くなることで、「平戸はいいぞ」となるのではないか。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>10 年前と比較して、市内でも社会福祉法人の施設が増え、何十人という雇用が生まれている。ただ、いつまでも老人人口が増えるわけではなく、2020 年をピークとして減少していくというのが見えているので、事業所としては正規職員で雇用すると不安があるので、契約社員等に変更してしまう。</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>若者を地域に定着させるために、農林漁業や観光業以外で突破口を開くのは福祉分野ではないか。条件を整えれば、人は集まってくると思う。平戸市が子育てや福祉の「幸福市」ということであれば、人口はドラスティックが増えていくのではないかという気もする。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>ハローワークでも、高いレベル資格の求人はあっても人材を確保できないという現実があると思うし、市職員も職種によっては応募を出しても人がおらず、給料を上げないと平戸には来ないということもある。担当課も苦慮しているが、何ができるのかということも考えながら対策していかなければならないと考えている。</p> <p><b>【基本目標 4 定住・移住の促進】</b></p> <p>(事務局説明)</p> <p>●質疑・意見等</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>移住定住の公募はどのように行っているのか。また、「いなか暮らし希望者へ積極的なアプローチを行います。」とあるが、具体的にどういった方法か。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>移住関係は、昨年度から長崎県と市町が予算を出して東京で事務所を構え、移住相談会を行っている。県庁に窓口があり、専属の職員もいる</p>
--------------------------	--

が、この事業では平戸市は結果が出ていない。

<委員>

以前は、手続きが煩雑ということもあって移住定住が少なかったとも聞いている。「いなか暮らし希望者へ積極的なアプローチを行います。」の具体的なところはどうか。

<事務局>

ふるさと納税関係で、昨年横浜市で大感謝祭を行ったが、その際にブースを作り移住相談会を実施した。また、大阪や東京でも行った。

<委員>

空き家除外費用の一部助成とあるが、どのくらいの金額か。

<事務局>

今年から増額しているが、800 千円と記憶している。補助を受けたら10 年間は転売できない等の要件がある。更地にすると固定資産税の軽減も無くなるので、家屋をそのままにしておく方も多い。

<委員>

倒壊の危険がある家屋もあるだろうが、安全への対処はどうしているのか。

<事務局>

市でパトロール等を行い、瓦の落下等防止のためネットで覆う等の対応をしている。また、個別に所有者を調査し、所有者が判明すれば対処を依頼している。

<委員>

移住者の53名は、平戸のどこの地区に居住しているのか。

<事務局>

地区までは把握していない。

<委員>

移住者の数はどのようにして把握しているのか。

<事務局>

担当課が補助制度を使った方の数で把握している。

<委員>

平戸の人は、持ち家を貸すことに抵抗がある方が多く、あまり出たがらないと聞いている。昨年ぐらいから、30代前後の方の平戸への移住数が多くなっている。そういった方々はどのように生計を立てているのか気になっている。平戸に来てもらう事業はあるが、その後に繋がる事業が不足していると感じる。どうやって生活しているのか尋ねたら、農家に手伝いに行ったりして生計を立てていると聞いた。こういった生活でいつまで平戸に住めるのか、移住はしても定住には繋がらない可能性が高くなるのではないかと思う。

移住してきた人向けの対策の充実が必要だと思うし、移住してきた人たちがそのまま住んでいるのか、何人転出したのか、といったデータも把握する必要があると思う。

<事務局>

4つの目標を立てているのが、正に今おっしゃったことであり、この目標が互いに連携しなければ成り立たない計画であるが、今おっしゃったことを埋めるまでの雇用促進は今のところできていない。商工関係の空き店舗対策で、何がこの商店街で足りない商店なのかというニーズを調査し、こんな人に来てもらえないか、という逆指名ができないか、ということ以前から話しており、このようなことをブラッシュアップしていくのが総合戦略であると考えている。

定住移住は、そこで何をして生活していくのが課題になる。ブロードバンド環境が整ってきており、IT関係は都会でなくても平戸で業務可能になりつつあるので、例えばテレワーク支援などが今後の課題であると思う。

<委員長>

「定住」という言葉が重いと感じている。農山村地域の人達と都会の人達との意識の差もある。「一時居住」のような言葉であれば、もっと

人が来てくれる気もする。

<委員>

創業支援事業について、市外の方々に向けて情報発信しているのか。

<事務局>

情報発信しており、実際に創業で転入してきている人もいる。担当課では、情報発信についてあの手この手を考えている。

<委員>

生涯学習推進事業の出前講座について、「講座の新規講師の登録が少ない」とある。使わせていただく私たちからすれば、現在は講座が偏っており使いづらいものとなっていると思っている。現在の講座から選択して使うとき、今後の改善として「具体的に紹介できる環境を検討する」とあるので、一覧表に必要な材料や所要時間、対象年齢、完成作品の写真などを入れていただければ、使いやすくなると思う。

<事務局>

ご意見を参考にさせていただく。

<委員長>

それぞれの事業に評価の妥当性が記入されているが、ここについて深いところの議論は行わなくていいのか。

<事務局>

委員のご意見があれば、真摯に受け止めて担当課にも伝えていきたい。

<委員長>

まだ資料全体を見ていない委員もおられると思うので、もし意見があったら事務局に後ででも伝えてもらいたい。

<事務局>

後日でも結構なので、ご意見をお知らせいただければ、集約して各課にも伝えていく。

<p>(3) 地方創生先行型交付金事業の実施状況等について</p>	<p>また、今後の方針が「拡大」になっている事業があるが、予算を編成する中で必ずしも思い通りの予算措置ができるかは未確定である。推進委員会は年2回開催させていただきたいと考えているが、今回は予算に係る部分をご審議いただき、方針の部分がどうなったのかも含めご意見をいただきたいと思う。</p> <p>(事務局説明)</p> <p>● 質疑・意見等</p> <p>&lt; 委員 &gt;</p> <p>エージェント活用という言葉があったが、先ほど話が出たアンケートについても、エージェント活用ができればと思う。</p> <p>&lt; 委員 &gt;</p> <p>情報があふれている現在、提案だが平戸で観光情報を一元化できるサイト立ち上げを検討できないか。</p> <p>&lt; 事務局 &gt;</p> <p>観光情報は観光協会サイトで一元化したほうが良いということで、市ホームページでは観光情報を盛り込まず、リンクを貼っているだけである。ただし、観光協会は会員のみ情報となるが、できるだけ一ヶ所で情報がわかるような形にしたいと考えている。</p> <p>&lt; 委員 &gt;</p> <p>平成 28 年度もこの事業を行っているのか。また、「今後の方針の理由」にある観光人材育成の具体的内容を教えてもらいたい。</p> <p>&lt; 事務局 &gt;</p> <p>事業名は変更になっているが、基盤整備以外の事業は平成 28 年度も実施している。また、人材育成については、平成 28 年度に国の地方創生推進交付金を活用して、インターンシップを活用しながら人材育成を行うこととしている。</p>
-----------------------------------	--

<p>(4)その他</p> <p>6. 閉会</p>	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>この事業が無ければ、実績値の宿泊者数も出なかったであろうから、この事業を継続して行っていけば更に効果も出てくると思う。効果があるので、平成 27 年度の予算規模は難しいかもしれないが、手直ししながら継続してもらいたい。</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>ふるさと納税の返礼品に、ホテルのチケットはあるのか。また、その活用はしているのか。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>チケットはある。観光協会が旅行業の資格を持っており、旅行商品造成で活用している。航空機などとの組み合わせも可能である。ただ、キャンセルが多く、後処理が大変だったとも聞いている。実績では 2,000 千円以上のポイントを使っていた効果が出ている。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>平成 28 年度においては、推進委員会について 2 回開催を予定している。次回開催は平成 29 年 3 月を予定している。</p> <p>質疑・意見等無し</p> <p>会議終了</p>
----------------------------	--